

指定管理者による公の施設の管理運営状況(令和2年度分)

施設名	群馬県青少年会館	所管課	教育委員会生涯学習課
指定管理者名	(公財)群馬県青少年育成事業団	指定期間	5年
利用料金制	<input type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 一部導入 <input type="checkbox"/> なし		R2.4.1 ~ R7.3.31

※利用料金制とは施設の利用に係る料金を指定管理者の収入として収受させる制度。「一部導入」は利用料金制を導入しているが指定管理料を支出している施設

1 施設の概要

施設所在地	前橋市荒牧町2番地12
指定管理業務内容	・群馬県青少年会館の管理及び運営 ・青少年健全育成事業の実施

2 職員の状況(令和2年4月現在)※主に指定管理業務に従事する職員数

通常(フルタイム)の職員:	10人	合計:	11人
短時間雇用の職員:	1人		

3 収支の状況(令和2年度決算額)

収 入		支 出	
指定管理料	74,415,390	人件費	55,994,568
利用料収入	3,339,835	委託料	4,355,776
その他(事業参加者負担金収入)	21,000	光熱水費	4,280,711
自主事業収入	1,825,628	租税公課費	5,515,188
		その他(管理運営費等)	6,407,472
		自主事業支出	1,825,628
収入合計	79,601,853	支出合計	78,379,343

※指定管理者の指定管理業務等及び自主事業に係る収支を記入(指定管理者団体全体の収支ではない。)

4 利用の状況

	令和2年度(実績)	(参考)令和元年度(実績)	(参考)平成30年度(実績)
①年間利用者数(人)	14,873	42,419	48,053
②使用料収入(円) (県納付額)	-	-	-
③利用料収入(円) (指定管理者収受額)	3,339,835	10,558,000	11,502,250

5 施設における実施事業の状況 「※中止」…コロナ禍による中止

事業・イベント名	開催日	参加者数	内容	参加者の感想等
子どもとふれあいスキルアップ事業	2/27 【オンライン形式で開催】	43人	【目的】子どものいる場所に関わっている(または関心のある)青年を対象に、子どものよりよい関わり方や距離感、「遊び」に対する考え方を学び、地域活動に積極的に関わる人材を養成する。 【内容】「コロナ禍でも笑顔で過ごせるコミュニケーション講座」、「コミュニケーションゲーム」等	・子どもと自分の成長に繋がるワークショップだった。 ・コミュニケーション講座を聴いて、今後自分の意識を変えて子どもと接していこうと思いました。とても参考になりました。 ・YouTubeライブ配信だったので、Zoomや対面にはないリラックスさを感じ、非常に良かった。

子どもを未来に導く指導者セミナー	※中止	—	【目的】地域青少年活動指導者や青少年団体指導者、青少年活動に関心のある方を対象に、指導者として地域活動の活性化に寄与できる人材を養成する。 【内容】講義やコミュニケーションゲーム等を実施	—
ボランティア体験講習会(はじめてボランティア講座)	【動画配信】 6/25～3/31	視聴回数 1,093回	【目的】県内の大学生等を対象にボランティアに関する知識や技術を習得させ、地域でのボランティア活動を体験しながら、学生のボランティア活動の推進を図る。 【内容】「はじめましてが楽しくなる」、「子どもと活動を楽しむための安心＆安全トレーニング」、「ボランティアってなに？」が分かる！&自分に合う活動の選び方」等	動画配信であるため、アンケートは実施していないが、動画を視聴した高校1年生から「ボランティア活動に参加したい」という連絡をうけた。当会館の事業に参加し、そこで一緒に活動したボランティア団体への加入を検討している。
中学生・高校生交流ボランティア体験	※中止	—	【目的】ボランティアの入門として、中高生に対して近隣地域で開催されるイベントにボランティアとして関わる機会を提供し、ボランティアに関する知識や技能を高めると共に、実践活動を通じて参加者同士の交流を図る。 【内容】ボランティアに関する基礎的知識の習得、ボランティア体験の実施、参加生徒同士の交流等	—
体験活動・ボランティア活動支援センター	通年	1人	【目的】青少年及び指導者のボランティア活動に関する情報を収集し、ボランティア活動を希望する青少年等とそれを必要とする学校や子ども会、その他の団体との連絡調整を行い、活動の機会を提供する。 【内容】ボランティア活動に関する情報収集と提供、ボランティアバンクの設置と運用、学校や子ども会その他の青少年団体との連絡調整	ボランティア、指導者とも、事業の趣旨を十分に理解した上で取り組んでおり、参加者・受入団体双方に喜ばれた。
ふれあい・ゆうあい交流フェスタ	※中止 (実行委員会を2回開催したが、それ以降の事業は中止となった。)	6人×2回(実行委員会第1回・第2回参加者)	【目的】障がいのある人とない人がともにふれあい、ともに活動・交流する楽しさを体験するため、障がいを抱える子ども及びその保護者や支援団体、青少年団体、中学生以上のボランティア、一般県民(当日来場者)などが集まり、「心のバリアフリー」をテーマにフェスタを行う。 【内容】障がい児の活動を支援する団体等との連絡調整、実行委員会組織の設置、ボランティアの募集及び研修の実施、フェスタの内容検討・実施	—
親子ふれあい会館ロッジ事業	【動画配信】 7/21～9/7 【手芸・工芸教室】 10/24・25	【動画配信】 視聴回数 937回(Ⅰ親子サマーチャレンジ) 【手芸・工芸教室】 手芸教室 21人 工芸教室 20人(Ⅱ秋の工芸・手芸教室)	【目的】親子で力を合わせて木工・陶芸・竹細工などの体験活動を行う。また、参加者同士のレクリエーションにより、子ども同士、親同士の交流を図る。 【内容】親子での木工・工芸とレクリエーション、参加者同士の交流、※宿泊体験は中止	【動画配信】 ・コロナ禍において、家で楽しめる動画配信をしていただきありがたい。 ・材料をいただけるのでありがたい。親子で竹細工に挑戦したい。 【手芸・工芸教室】 ・親子で声を掛け合いながら作品を作り、とても楽しかった。

国際交流推進事業	※中止	—	【目的】小学生に対し、留学生等との交流活動を通じて異国文化に触れ、自国との違いを感じ取る機会を提供する。また、宿泊を伴うプログラムを通して、外国人講師、ボランティアリーダー、参加者同士の交流を深める。 【内容】国籍の異なる複数の留学生等による、他国文化の体験活動及び交流活動、青少年団体のリーダーと子どもとの異年齢交流及び宿泊を伴うものづくり体験	—
夏休みキッズスクール	※親子ふれあい会館 ロッジ事業 I (親子サマーチャレンジ) に吸収合併	—	【目的】家庭の経済力・教育力の格差に配慮し、大学生ボランティア等による小学生の夏休み学習支援を行うと同時に、魅力ある体験交流活動を提供することで、夏休みの楽しい思い出を心に残してもらおう。 【内容】夏休みの課題等の個別支援、体験活動及び交流事業、希望する保護者に対する子育て相談	—
青少年団体活動支援事業	通年 (例年実施している「夏休み宿題お助け隊」、「親子もちつき体験」は中止)	【わくわくぶくろ】 配布個数 47袋  【わくわくぶくろ冬バージョン】 配布個数 24袋	【目的】青少年の健全育成を行っている団体と協力し、様々な体験活動を通じて子どもたちの想像力や社会性を育むとともに、親子での協同作業や共通体験を通じて親子の絆を育む。また、各団体の充実を図るための情報提供や指導・相談業務等を実施する。 【内容】8月～3月の間、「あそぼう まなぼう わくわくぶくろ」を希望者へ配布(情報提供や指導・相談業務は通年で実施)	【わくわくぶくろ】 ・親子で5種類のおもちゃを作ることができて楽しかった。作り方の解説書も入っていたので、親として助かった。 ・作った物でそのまま遊べるので、親子で楽しい時間が過ごせた。 【情報提供・相談業務】 ・会館職員の助言により、団体連絡会議の内容を改善でき、充実した会となった。
ぐんま青少年ねっと	通年	【学習情報コーナー利用者】 2名 ※当コーナーはコロナのためR3.4.15から閉鎖	【目的】ホームページ、ブログ、SNSにより青少年会館及び青少年健全育成事業の情報を発信する。また、学習コーナーを設置して会館利用者に対してインターネットが利用できるPCの無料開放を行い、青少年の情報活用の推進を図る。 【内容】会館運営、事業開催情報の提供、HP等の日常管理、HPのスマートフォン対応、学習情報コーナーの無料開放、事業に関するデータベースの管理と運用	会館ホームページの閲覧による施設利用及び主催事業の問い合わせが多く、インターネットと活用効果を感じられる。施設案内や事業内容を明確に伝えるため、対象者にとって有益な情報として活用されている。
(参考) 自主事業	青少年会館友の会育成事業	会員数 33名 友の会の活動 1回 オンラインゆめすくーる2020 4回		延べ7名(施設ボランティア体験会) 述べ75名(うち児童32名)
	青少年ふれあい居場所づくり事業	1階交流スペース ※今年度は閉鎖 学習室開放 ※中止		0名
	高校生のための写真講座	9月5日		50名(募集定員30名)
	会館利用者のためのプログラム提供	通年受付 8月2日 押し花の葉づくり(キャンセル)		0名
	地域連携協力事業	施設見学、職場体験 大学生の社会教育学習 ライオンズクエスト		3団体から申し込みあり(大学1、小学校1、その他1)
	ユースまち探検プロジェクト	通年 (事業期間:平成30年度～令和2年度の3カ年間)		渋川会場47名、高山村会場0名(中止)、上野村会場22名

## 6 利用者満足度調査等の結果及び対応状況

利用者満足度調査については、①施設利用、②青少年健全育成事業でそれぞれ実施している。

### ①施設利用

(実施期間)

通年で実施した。

(実施方法・回収率等)

施設利用団体責任者へアンケート調査を実施した。

(項目別回答集計)

- ▼性別:男性38% 女性62% 未回答0%
- ▼年代:高校生以下8% 大学生2% 20代11% 30代14% 40代19% 50代36% 60代以上10% 未回答0%
- ▼地域:前橋市内45% 市外28% 県外26% 未回答1%
- ▼利用頻度:初めて14% 週に数回4% 月に数回43% 年に数回32% ほとんど利用しない5% 未回答2%
- ▼職員の対応:満足86% まあ満足11% 普通3% やや不満0% 不満0% 未回答0%
- ▼料金設定:満足66% まあ満足17% 普通7% やや不満1% 不満7% 未回答2%
- ▼利用時間の設定:満足80% まあ満足15% 普通4% やや不満0% 不満0% 未回答1%
- ▼照明の明るさ:満足80% まあ満足15% 普通4% やや不満0% 不満0% 未回答1%
- ▼清潔度:満足72% まあ満足23% 普通5% やや不満0% 不満0% 未回答0%
- ▼使いやすさ:満足70% まあ満足26% 普通4% やや不満0% 不満0% 未回答0%
- ▼案内表示の分かりやすさ:満足74% まあ満足19% 普通5% やや不満1% 不満0% 未回答1%
- ▼安全性:満足70% まあ満足25% 普通4% やや不満0% 不満0% 未回答1%
- ▼総合的な印象:満足75% まあ満足18% 普通5% やや不満0% 不満0% わからない0% 未回答2%
- ▼交通手段:自動車87%、公共交通機関1%、自転車1%、その他1%、未回答10%
- ▼利用する際の手続き・申請方法について:便利70%、普通23%、未回答7%
- ▼また利用したいか:利用したい96%、どちらともいえない2%、未回答2%

(利用者からの意見等)

- ・コロナ禍で色々と制限がある中ですが、会議室を利用できて良かったです。
- ・料金が安くて良かった。(企業研修担当者や青少年団体指導者などから)
- ・利用予約を電話一本で簡単にできる点が良い。
- ・プロジェクター、ホワイトボード、ワイヤレスマイクなどの備品や空調を無料で利用できる点が良い。
- ・職員の方々の対応があたたかく、館内も清潔感があり、とても快適に過ごせました。
- ・県産材使用のソファ、机などが明るい雰囲気が良い。
- ・網戸があり、コロナ対策の換気がしやすかった。
- ・照明がLEDに変わったので1階ロビーの雰囲気が明るくなったと感じた。
- ・交通の便が悪い。(駅やバス停が遠い)
- ・新館シャワーの水圧が弱い。

(調査結果分析)

総合的な印象の項目が「満足」、「まあ満足」の合計で93%となっており、利用者から満足度の高い評価を得ている。

(調査結果への対応状況)

(要望)特別室A・Bに荷物置きがほしい。

(対応)既存の材料を使用(経費節減)して職員で製作を行い、設置した。

(要望)本館ロビー照明が暗く感じる。

(対応)県予算で本館1階ロビー照明LED化工事を実施した。以前より大変明るくなり、また省エネにも繋がった。本館2階、3階については今回未実施であるため、引き続き検討していく。

## ②青少年健全育成事業

### (実施期間)

参加型事業、ライブ配信事業(受講希望者のみに配信)は、事業後にアンケートを実施した。  
動画配信事業については、より多くの視聴を目的としたことと、不特定多数の視聴者へのアンケートは難しいと考え、実施しなかった。

### (実施方法・回収率等)

参加型事業:事業終了時にアンケート用紙を配布して記入してもらう。回収率:100%  
ライブ配信事業:事業終了時に質問フォーム又はメールで回答してもらう。回収率:44.2%

### (項目別回答集計)

各事業毎に、内容・満足度・実施時期等についての設問をして集計し、結果分析を行っている。

### (利用者からの意見等)

#### 〈参加型事業〉

・コロナの中、このような教室が少なく、寂しく感じていました。抽選に当たって、子どもがとても喜んでいました。ありがとうございました。  
・場所も近く良かったです。少人数でとても良かったです。これぐらいがベストです。混み合うこともなく、最初にレクを行うのも良かったです。体を温めることができたので、その後の動きもスムーズに行えました。  
等、コロナ禍の中、親子で参加できたことを喜んでる感想や事業実施に感謝している感想がほとんどであった。

#### 〈ライブ配信事業〉

・毎年、群馬県青少年会館での指導員セミナーに参加させていただいています。コロナ禍でのオンライン講座でしたが、参加者同士の関わりがないのが残念でした。でも、自宅でも気軽に学ぶことができ、貴重な時間を過ごすことができました。  
・本日の講座を企画してくださりありがとうございました。実際に現場で役立つゲームと、コミュニケーションの取り方について学ぶことができました。また、本日の内容は、大人と接する際にとっても大切なことだと気付かされました。以後、自分の生活の中でも意識していこうと思います。  
等、講義の内容について好評価な感想が多くあった。また、ライブ配信については、Zoomや対面にはないリラックスさを感じたという意見もあった。

### (調査結果分析)

・アンケートの実施結果を基に分析し、次年度の事業内容に反映させるようにしている。  
・動画配信の「ボランティア体験講習会」は、前年度の参加者アンケートからニーズを抽出した上でプログラムを構築した。また、ライブ配信の「子どもとふれあいスキルアップ講座」でも、プログラム内容については、前年度の事業参加者アンケートや青少年指導者からニーズ調査を基に、活動現場で求められている知識や技能を習得できるものにした。

### (調査結果への対応状況)

・親子ふれあい体験教室については、コロナの感染状況にもよるが、次年度も今年度並みの募集人数にしたいと考えている。  
・今年度、コロナの関係でやむなく中止になってしまった事業についても、感染防止対策をとりながら青少年指導者・ボランティア養成事業、青少年の交流・体験活動事業等の事業実施ができるよう検討していきたい。

### (その他苦情・要望等及びその対応状況)

なし

7 管理運営状況の評価 (A:優良、B:良好、C:要努力、D:要改善)

評価項目	総合評価	評価の考え方	評価できる事項及び改善すべき課題
総合評価	A	事業計画に基づき青少年健全育成事業に取り組み、利用者の満足度も高く、良好な管理運営状況である。	<p>&lt;評価できる事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の満足度が高いこと。</li> <li>・コロナ禍にあっても適切に事業を遂行できるよう、参加型事業をオンライン事業に切り替える等、創意工夫が見られること。</li> </ul> <p>&lt;改善すべき課題&gt;</p> <p>平日の利用者増に向けて、継続的に広報活動に取り組むとともに、さらなる経費削減等の経営努力が望まれる。</p>

(個別項目ごとの評価)

評価項目	評価
平等利用の確保	A
サービスの提供内容	A
管理費用の執行状況	B
管理運営体制	A
法令遵守等	A
労働条件評価の実施	無

評価項目	評価
利用者対応	A
地域貢献	A
環境問題への取組	A
防災対策及び緊急時の対応	A
個人情報保護及び情報公開	A

(参考) 指定管理者の自己評価及び評価委員会の年度評価結果

	総合評価	評価の考え方
指定管理者の自己評価	A	コロナ禍においても青少年の健全育成等を推進するため、コロナ対策をつつ、事業内容や募集人数、実施方法について実施可能な形へ変更する(動画配信やライブ配信・オンライン等)等、最大限の努力をした。
評価委員会の年度評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍により休館や事業中止を余儀なくされたが、感染防止対策の徹底や動画配信等の新たな取組を実施する等、施設の設置目的及び指定管理業務の目的達成に向けて努力している。</li> <li>・コロナ禍により事業等が中止になった時間を活用し、新企画等の検討や業務改善等、さらなる取組が望まれる。</li> </ul>